

1. 研究の背景と目的

本研究は港区を例に東京都心の街区公園の空間的特徴を探る。児童公園が子ども中心だったのに対し 1993 年都市公園法改正による街区公園は対象を居住者全般に広げた。港区はわが国有数の商業業務地である一方で人口 24 万 (2015 年 3 月)、江戸期の山手から再開発が進む湾岸まで歴史と自然に富み、都市の諸相が街区公園に反映される。神田 (2004) は遊具非設置型に着目して東京 23 区の街区公園を分析している。本研究は都心一区の街区公園全数を調査分析した。

2. 街区公園の諸元

2.1. 東京 23 区の街区公園

23 区の街区公園は 2,916 カ所、計 505.77ha。基準 0.25ha に対し平均 0.17ha。23 区人口 8,729 千人に対し 10 千人あたり 3.34 カ所 (=2,916 カ所 ÷ 8,729 × 10)、0.57ha (=505.77ha ÷ 8,729 × 10)。23 区面積 618.29km² に対し誘致範囲 0.25km² (500m 四方) あたり 1.17 カ所 (=2,916 カ所 ÷ 618.29 km² × 0.25)、0.20ha (=505.77ha ÷ 618.29 km² × 0.25)。面積は立地によらずほぼ一定で、用地や設計意図など内的要因が空間的特徴を決めていると思われる (図 1・表 1)。

2.2. 港区の街区公園

港区の街区公園は 39 カ所、11.68ha、平均 0.29ha。人口 237 千人に対し 10 千人あたり 1.64 カ所 (=39 所 ÷ 237 × 10)、0.49ha (=11.68ha ÷ 237 × 10)。区面積 20.34km² に対し 0.25km² あたり 0.47 カ所 (=39 所 ÷ 20.34 km² × 0.25)、0.14ha (=11.68ha ÷ 20.34 km² × 0.25)。

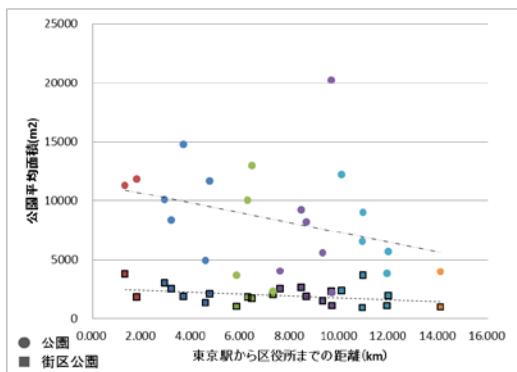


図 1 公園平均面積と位置の相関図

表 1 23 区の街区公園 (出典: 「公園まっぷ」、23 区区役所ホームページより作成)

区	街区公園数	人口 (人)	街区公園面積 (m ²)	街区公園平均面積 (m ²)	街区公園に対する人口当たりの街区公園面積 (%)	人口10,000人当たりの街区公園の数	人口10,000人当たりの街区公園の面積 (m ²)	公園数	公園面積 (m ²)	人口10,000人当たりの公園の数	人口10,000人当たりの公園の面積 (m ²)	
千代田区	11.84	55,683	17	31,881	1,864	0.27	3.05	5,890	22	260,206	4	46,730
中央区	10.18	135,770	41	153,403	3,742	1.51	3.02	11,299	48	543,561	4	40,035
港区	20.34	237,803	39	116,896	2,997	0.57	1.84	4,916	49	482,703	2	20,719
新宿区	18.23	326,309	157	165,907	1,057	0.31	4.81	5,084	168	616,156	5	19,894
文京区	11.31	205,760	29	73,883	2,541	0.85	1.41	3,581	41	343,641	2	18,701
台東区	10.18	188,791	48	80,176	1,870	0.89	2.54	4,776	51	753,533	3	39,914
墨田区	13.75	256,744	124	165,434	1,334	1.20	4.83	6,444	139	685,596	5	29,709
江東区	39.59	487,142	138	290,052	2,102	0.73	2.83	5,854	167	1,950,249	3	40,035
品川区	22.72	370,754	68	127,341	1,873	0.58	1.83	3,435	83	680,414	2	18,352
目黒区	14.70	268,830	26	86,061	2,541	0.45	0.97	2,457	70	281,134	3	10,458
大田区	80.62	750,713	430	427,563	994	0.71	5.78	5,695	453	3,809,248	6	24,087
世田谷区	58.08	871,853	287	271,129	945	0.47	3.29	3,110	369	2,419,515	4	27,751
渋谷区	15.11	218,238	42	72,375	1,723	0.48	1.94	3,347	50	648,159	2	28,974
中野区	15.59	318,059	146	162,723	1,115	1.04	4.82	5,149	151	337,909	5	10,891
杉並区	34.02	546,549	228	244,968	1,074	0.72	4.82	2,268	973,264	5	17,892	
豊島区	13.01	272,812	49	100,983	2,061	0.78	1.80	3,702	65	152,553	2	5,592
北区	20.59	338,444	47	124,042	2,639	0.80	1.40	3,887	80	738,489	2	21,950
荒川区	10.20	207,652	27	49,698	1,841	0.49	1.30	2,393	32	321,159	2	15,469
板橋区	32.17	542,169	288	448,781	1,509	1.40	5.90	8,396	315	1,757,211	6	32,411
練馬区	48.16	350,280	166	319,955	1,927	0.88	4.74	9,135	339	1,928,599	10	55,062
足立区	53.20	672,025	271	993,082	3,684	1.87	4.03	14,777	299	2,896,892	4	40,132
葛飾区	24.84	424,558	111	264,118	2,379	0.78	2.55	6,079	126	1,540,476	3	33,453
江戸川区	49.86	678,825	127	296,698	2,336	0.80	1.87	4,371	158	3,193,917	2	47,051
合計	618.29	8,729,693	2,916	505,772	1,734	0.82	3.34	5,794	3,531	25,127,814	4	28,784

3. 街区公園の空間的特徴

港区の街区公園全 39 カ所を調査して空間的特徴を分析した (表 2)。

3.1. 立地条件など

- ①立地: 最寄り駅からの距離は平均 350m。最多帯が 200m 台である。
- ②用途地域: 1 種中高層 4、2 種中高層 4、1 種住居 6、2 種住居 5、近隣商業 4、商業 15、準工業 6。うち 2 地域にまたがる公園が 5 ある。
- ③隣接条件: 道路 4 本に面するのが 3、3 本が 7、2 本が 21、1 本が 7、面さないのが 1。隣地は住宅 21、オフィス 27、コンビニ 9、幼稚園・学校 13、線路 6、運河 6、公園 5、寺院 6。

3.2. 経緯

昭和 20~30 年代開園 15 カ所に麻布など内陸の宅地転用が多い。昭和 40~50 年代開園 13 カ所に芝浦など戦前埋立地や運河の転用が多い。昭和 60~平成年代開園 11 カ所は港南など臨海地区に多い。

3.3. 形状と地形

- ①四周を道路に囲まれて街区全体を使う街区全面が 3、②街区一部が 17、③異形 12 (図 2)。地形は①外周と同じ高さが 25、②高いのが 10、③低いのが 4。④公園内に段差があるのが 15。

3.4. ゾーン分け

- ①ゾーン分けがない 9、②遊具によるもの 20、③地面によるもの 19、④高低差 12、⑤道路を挟むもの 4、⑥植栽によるもの 10 (図 3)。

3.5. 分析

上記の調査結果から港区の街区公園の空間的特徴を分析した。

- ①ゾーン分けがない公園は児童公園 (都市公園法制定 1956) 以前 (3/11) と街区公園 (都市公園法改正 1993) 以降 (4/10) に多い。
- ②ゾーン分けの有無や種類は立地によらない。面積が大きいほどゾーン分けがされている。2 つのゾーンに分ける例が 15/39。ゾーン分けなしは 0.25ha 未満が 6/15 に対し 0.25ha 以上が 3/24。
- ③従前の土地利用に明らかな傾向がある。内陸部に江戸期の武家地や寺院に起源をもつ例が多い。臨海部に運河や海水面の埋立てによる例が多い。区画整理で整備された例や小学校を経た例もある。

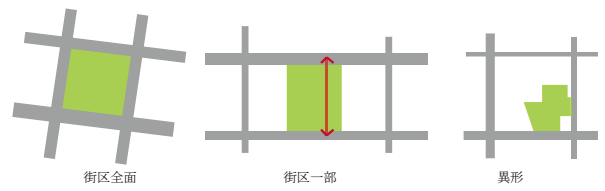


図 2 街区公園の形状

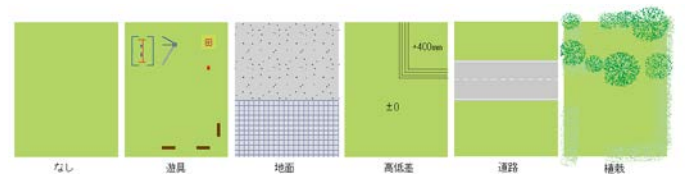


図 3 街区公園のゾーン分け

